



インキュベーションセンター入居企業紹介

株式会社 エムケー技研 MK

エムケー技研
MK tech.

〒963-1165

福島県郡山市田村町徳定字中河原 1 番地 1

郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター10号室

代表取締役 諸根 理仁

TEL : 080-1677-3766

E-mail : info@mk-rd.co.jp

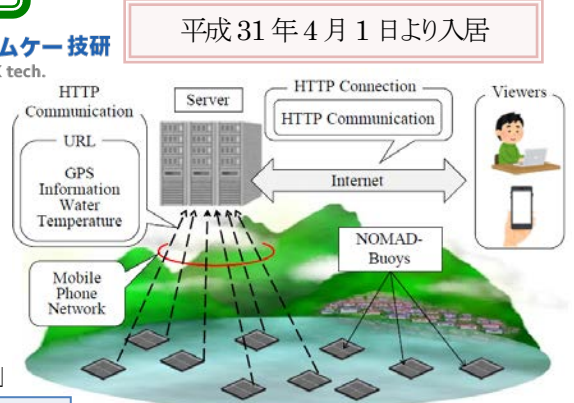
会社 HP : mk-rd.co.jp

－ 事業内容 －

- ・ロボティクス/メカトロニクス応用機器の研究、開発、設計、製造並びに販売
- ・研究開発支援事業



「浮遊型環境計測ブイ NOMAD」



平成 31 年 4 月 1 日より入居

日本大学工学部と共同研究した

「再生可能エネルギー型湖環境モニタリングシステム」

－ 代表者からの一言 －

弊社は主としてロボット関連分野の受託開発を行っております。来年度から受託開発で得た知見を活かした製品、サービスの開発を進めて参ります。

この度インキュベーションセンターに入居することが決まりましたので、日本大学工学部と密に連携しつつ事業を展開し、福島県のロボット産業の発展に寄与できればと思っております。

平成 30 年度 第 3 回 理事会開催報告

平成 31 年 3 月 22 日 (金) 11 : 00 から当機構ものづくりインキュベーションセンターで、今年度第 3 回理事会が開催された。滝田理事長他理事 9 名、監事 1 名の出席のもと、平成 30 年度業務執行状況・補正予算や特定費用準備資金、平成 31 年度事業計画・当初予算が審議され原案通り承認された。

新年度事業計画では、ものづくり企業支援のために積極的な事業展開を図っていくことが議論され、特に「ものづくりインキュベーションセンター」の活用や人材育成事業であるマイスターズカレッジの拡充、昨年度に引き続き産業用ロボット実機展示をインキュベーションセンターで行い生産省力化相談、導入相談等を実施することなどが計画された。



「ものづくり企業を応援します」

東日本大震災及び原子力災害から 8 年が経過し、圏域内では、産総研「福島再生可能エネルギー研究所」をはじめ「ふくしま医療機器開発支援センター」など新しい産業の創出につながる研究機関、産業支援機関が立地し、さらには、インフラや交通体系の整備も進められ、新事業・新産業創出の適地として本県を牽引する地域として期待されております。

当機構の設立原点は「ものづくり企業への支援を通じた福島県産業の振興」であり、今年度も当機構の特徴、強みを活かして積極的に事業を展開して参ります。

「ものづくり関連企業」に特化したインキュベーションセンターは、11 室満室の利用状況となっております。今後とも、日大工学部敷地内にあり大学等との連携に強みのある「場」の特性を生かし、新事業創出のため引き続き積極的支援を行って参ります。また、当センターを活用した産業用ロボット実機展示も、昨年度に引き続き実施し、地域企業により役立つ内容にしたいと思います。さらに、人材育成事業であるマイスターズカレッジについても、IoT、ロボットなど今の生産現場に求められる内容とし、現場研修も取り入れながら拡充を図って参ります。

当機構の運営は、基本財産運用益の活用が基本になりますが、今後とも厳しい状況が予想されます。選択と集中による効率的組織運営は勿論のこと、関係機関の企業支援策も活用させていただきながら、皆様から必要とされる機構であり続けるための仕事をしてまいりますので、なお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

平成 31 年 4 月

公益財団法人 郡山地域テクノポリス推進機構

常務理事 齋藤 隆

須賀川アドホック研究会 JAPANドラッグストアショー in 幕張メッセ

平成31年3月15日(金)、須賀川方部アドホック研究会の3月例会として、幕張メッセで開催された「第19回 JAPANドラッグストアショー」の視察を行いました。

今回のテーマは「ドラッグストアが支える地域社会の健康～セルフメディケーションをもっと身近に」をテーマにドラッグストア各店や店頭には並ぶ化粧品や医薬品メーカーの展覧はもちろんのこと、IOTを駆使したRFID在庫管理システムや商品紹介システムなど、ものづくりにおいても参考になる展覧内容でした。

その後、当研究会企業との繋がりで、昨年度から交流している「墨田・葛飾プレス安全協議会」を中心としたものづくり企業の方々と浅草で懇親会を開催し、新たな参加企業同士名刺交換等交流を深めました。



幕張メッセ前で記念撮影 内は業界関係者の方が熱心に視察していました



墨田・葛飾プレス安全協議会との交流会

郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会 平成30年度 第3回ボードメンバー会議 開催報告

◇日時：平成31年2月25日(月)

14:30～16:00

◇会場：郡山地域テクノポリスものづくり

インキュベーションセンター会議室

◇出席者：14名(事務局含む)

新メンバー：株式会社NTT 東日本 福島支店

郡山営業支店長 竹谷 金浩 氏

平成30年度事業報告及び平成31年度事業計画(案)について事務局より説明を行いました。

意見交換では、現在行っている子供向け教育プログラミングについて、既存の塾形式のプログラミング教室とは違い、初心者向けの入門編として有用であり、またプログラム内容として、文章の読解力、ロジカルシンキングも大事との意見が出されました。ハッカソンについては、年々参加チームも多くなってきており、作品レベルも向上している。一方で事



務局の負担も大きく、サポート体制についても検討が必要ではないかとの意見もありました。また新しい参加者のために、改めてハッカソンの意義、目的について説明する機会を設けてはなどの意見が出されました。

株式会社NTT 東日本 福島支店 郡山営業支店長 竹谷 金浩 氏



来年度に向けての意見交換

今月のコラム (シニアアドバイザー 門脇修一郎)



3月にアボット社の血糖測定器を紹介しましたが、さらに画期的というか革命的な測定器の開発が進んでいます。ライトタッチテクノロジー社という京都府木津川市に開発拠点を持つ社員数わずか6名のスタートアップベンチャーです。1月24日にヘルスケアITという展示会で山川考一社長の話を聞く機会がありました。この機器の凄いところはコップの様なセンサーに指をあてると5秒で血糖値が測定できること。採血測定との相関性も確認されています。現在さらに臨床データを蓄積中で2020年製造承認申請、21年上市を目指すとのこと。いつでもどこでも血圧並みに血糖値が測定できる時代がもうすぐ来ます。

特定波長の中赤外線を当てるとグルコースだけが選択的に反応して血糖値が測定できるというのが原理です。中赤外線の使用がブレイクスルーになりました。波長を変えると血糖以外にもいろんなものが測定できるとか。ビジネスチャンスが広がります。

発行元

(公財)郡山地域テクノポリス推進機構/郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会

TEL 024-947-4400 FAX 024-947-4475 E-mail techno@nm.net6.or.jp

郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター

TEL 024-926-0344 FAX 024-943-4441 E-mail monodukuri@nm.net6.or.jp

